

松本市議会議員

吉村幸代

の活動レポート

第20号(令和3年総集号)

よし むら さち よ

発行 吉村幸代後援会

〒399-0025 長野県松本市寿台9丁目4-1
Tel & Fax 0263 (58) 0201
E-mail sachiyo941@gmail.com
URL http://yoshimura-sachiyo.jp/



2022年2月発行



議員2期目の復路

今こそ議員の矜持を胸に 決算特別委員会の副委員長も務めました

「コロナ禍は未だ収まることを知らず、依然としてマスク生活が続いております。皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。」

令和3年春、松本市議会では議長選挙等を経て新体制が発足しました。市の組織変更に伴って、経済地域委員会は経済文教委員会と改名。その委員長を2年間務め終えた私は、5月から総務委員会に所属して活動中です。総務委員会は、総合戦略局・総務部・財政部・危機管理部等を所管します。

行政の役割は、市民の暮らしを守ることです。超少子高齢化社会の進行と税収減少は、一対の課題。そこへ追い打ちをかけるように、新型コロナウイルスから市民を守る対策や、コロナ禍により困難を抱えた人への対応が求められるようになりました。時と金の無駄遣いをし

ている場合でないことは明らかです。秋には、臥雲市政初の決算を審査する、決算特別委員会の副委員長も務めました。

さて、コロナ禍を受けて、議員活動にも制約が生じています。大きな催事の中止が相次ぎ、式典等

が開催されても議会からは人数を絞って代表者のみが出席。皆様方とお目にかかれる機会が激減してしまい、とても困惑しています。県外視察も勿論できません。

一方で、調査研究や読書に使える時間は増えました。また、朝夕の水やりは一葉も枯らすことなく大輪の菊を咲かせ、国産松本城菊花展への出品も叶いました。

私は考えます。「悪いことはかなり数えて嘆いても仕方ない。今できる最善を尽くそう」と。

「コロナ禍に負けず、引き続き、きっちり働いてまいります。」



▲ 令和3年10月 丹精した菊花が満開に！
松菊会の顧問として、菊づくり入門3年目

農は一日にして成らず

父が遺した家屋敷と農地がある。死の床にある父に「守る」と約束した。何としても守り抜いて後世に伝えていくという私の覚悟を、夫と子どもたちが理解してくれた。

議員活動は何より優先かつ多忙。皮肉なことに、議会繁忙期は農繁期と重なる。当てにならない私など数にも入れず、娘夫婦が先頭に立って四季折々に力を発揮するようになった。例えば晩秋には、自家用に無農薬有機栽培した信州の三大漬け菜（野沢菜・稻核菜・羽広菜）計200kgを漬け込み、友人宅の食卓まで豊かにしている。

さて、令和3年春、臥雲市政初となる市の組織変更は大がかりなものであった。総合戦略局や住民自治局が新設された一方で、農林部は解体され、西部農林課は消滅、農政課は産業振興部へ、林務課は環境エネルギー部へと移された。ちなみに総合戦略局は、市長の特別命による行政施策の調査研究や調整などを行うために新設された市

長の直轄部門。総合戦略室・秘書広報室・DX推進本部・お城まちなみ創造本部・アルプスリゾート整備本部から成る。名称を見ただけで市長の肝入り施策が分かる。

農林部がなくなったことを、私は今もって受け止め切れない。何しろ松本市は、農業産出額で県下第1位。農業は重要な基幹産業であり、しかし、従事者の高齢化や減少により存続の危機に差しかかっている。気候変動、自然災害多発も気がかりだ。今が大切、今が正念場。そして、国に農林水産省、長野県には農政部。松本市では産業振興部長ひとりで商工・農政・耕地・労務を所管するという。いかに有能でも大変すぎないか。

思いあぐねているうちに、昨年は農林業まつりが行われなかったことに気がついた。地産地消カレシンドラーも姿を消してしまった。小学生への地場産野菜プレゼントも取り止めとなつたし、食育事業の縮小も予告されているようだ。

農は一日にして成らず。食もまた一日にして成らず。自給率の低いこの国にあって、松本市はどこへ向かおうとしているのだろうか。平成29年度に、私は経済地域副

委員長として政策提言「農業分野における温暖化対策―プラス2℃に備える―」を書いた。令和元・2年度には同委員長を務め、「スマート農林業の推進」を政策提言市議会発の条例改正も実現することができた。農業へのこだわりがどうして捨てられよう。

農業は食物を生産するだけでなく、様々な恵みをもたらしてくれ。国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承、食育に代表される教育……お金で買つことのできないものばかりではないか。

私は農業倶楽部「千歳屋」を立ち上げた。利き酒師である娘は郷土の食文化研究に励んでいる。外食産業研究の第一人者である恩師のアドバイスを、文化発信事業という側面を強化し、ホームページでの発信も始める。シンボリック存在のオリジナル清酒「寿一番星」は、偶数年の10月1日（日本酒の日）に発売している。

私が引き継いだ田畑は、父母や祖母や、会ったことのない祖父や先祖たちの汗が込み込んだ財産だ。ささやかな農地から、様々な農作物とともに、夢が生まれている。

編集後記

「議長！議事進行」。12月定例会、吉村質問の終わりに実際にベテラン議員の声が議場に響いた。▼そのまま本会議は一時中断。状況はよく飲み込めないが、胸が早鳴る。市長が吉村に対して発した反論が、議長の許可が必要な「反問権行使」に当たるとはとの異議申し立てらしい。他会派の重鎮が、聞くに堪えかねて放つた牽制球、議会テクニクに唸つた。▼新市政になって初めて議会を傍聴した日、慣習に抗いつつ自らの言葉で語ろうとする新市長に感じ入った。吉村議員が市民タイムスにコラムを執筆していた頃の、言葉と格闘する姿と重なつた。▼ふと、調停委員を務める友人の言葉を思い出していた。「離婚調停も、相手に一生懸命に文句を言っているうちはいいよ、まだ望みがある」。異論は情熱の裏返しだ。▼厳寒期、昨秋収穫した野菜の漬物を茶の間で食しつつ、春の作付けに希望を膨らませている。松本市政でもそろそろ収穫が見たい。多事「争論」から「奏論」へ。品種改良や収量増につながる議論で口角泡を飛ばして欲しい、マスク着用の上でね。（結城子）



▲ 4/1(木) 中山霊園の桜咲く

▲ 4/18(日) 松本西南ロータリークラブ
大音寺山で植樹の奉仕活動

▲ 4/21(水) 経済文教委員会 最終回

▼ 6/15(火) 6月定例会 一般質問



▲ 6/21(月) 基幹博物館建設工事の
現地視察

▲ 7/3(土) 活動レポートの配布
中山地区保福寺にて、ひと休み

吉村写真館

2021年 4月 ~ 12月



▲ 9/25(土) 酒米の稲刈り・はざ掛け
えう、ご期待! 清酒「寿一番星」



▲ 10/18(月) 決算特別委員会副委員長
としてテレビ出演



▲ 10/25(月) 国宝松本城菊花展
搬入作業



▲ 12/1(水) 松本古城会「松本城の年末清掃」
真剣に! 小笠原牡丹の冬囲い



▲ 12/20(月) 長野県防災会議



▲ 12/30(木) 私の仕事納め
看板設置許可シール更新